

<YFA4種リーグ研修会（保護者・指導者参加型）活動報告書>

◆2023年度4種リーグ研修会のテーマ『分析』

<目的>

- ・指導者及び保護者を対象に分析の観点について、ディスカッション
- ・『分析』の重要性について、フォーカス⇒「PLAYERS FIRST」

<日時>

- ・2023年5月28日（日）9:00～10:00

<場所>

- ・花鳥の里スポーツ広場（笛吹市御坂町）

<対象者>

- ・U-12 リーグ（G-blue）8チームの指導者及び保護者 約80名

<講義者>

- ・ファシリテーター：西川陽介氏

<補助者>

- ・指導者取りまとめ役：雨宮剛史（エルドラードFC） 司会：窪田圭司（北杜UFC）

<スケジュール>

- 1.（15分）レクチャー：①分析とは何か②リーグ戦の必要性
- 2.（15分）ディスカッション（グループワーク）

指導者、保護者に分かれ実施

- 3.（15分）発表：各グループのディスカッション内容について発表
- 4.（10分）まとめ

<内容>

1. レクチャー

①分析とは何か？

【指導者】

- ・指導者側の分析とは？

⇒ゲームにおいて改善点を洗い出し、トレーニングにおいて改善を図り、次のゲームに向けてのために必要である。ミスにも認知・判断・実行のどの部分かを見極める必要がある。

- ・課題のみの洗い出しが分析？

⇒できた点についても分析し、選手を誉め更に質を上げていく必要がある。

- ・分析に当たりジュニア年代ではどこを主としているか？

⇒試合に当たり相手チームのスカウティングもあるが、ジュニアにおいて主に置くのは個の分析が重要となってくる。

【保護者】

・保護者側としての分析とは？

⇒選手がチャレンジしているか。積極的にゴールに向かってるか。

・保護者がハッピーなとき・アンハッピーな時はどのような時か？

⇒選手が笑顔のとき・試合に勝っているとき／選手たちが下を向いているとき・チームが負けているとき

②リーグ戦とは？

【指導者&保護者】

・質の高いリーグ戦とは？

⇒リーグ戦の良いところは、真剣勝負の中にも勝ち負けあり、チャレンジできる環境、そのためグループ分けも重要

・リーグ戦のメリットは？

⇒分析した内容を継続的に試合の中で試すことができる。前半のリーグで10試合程度確保されていることも重要

・試合環境の変化について

⇒昔はトーナメント戦のみであった。春・秋・冬であり、1回戦で敗戦となった場合、3試合となっていた。

・トーナメント戦のメリットは？

⇒勝敗を決めるためのPK戦、緊張感

リーグ戦、トーナメント戦ともにメリットがある。試合機会の確保の中で、4種年代は均衡した試合環境を確保し、継続した場であるリーグ戦は重要となってくる。



2. ディスカッション（グループワーク）

【指導者テーマ】

①リーグ戦において大切なこと

- ②質の高い試合とは
- ③試合でどの様な部分を見て分析しているか
- ④分析の結果を指導にどう反映しているか

【保護者テーマ】

- ①所属チームでどの様な指導を受けているか
- ②選手がサッカーを楽しんでいると感じるときはいつか
- ③選手を分析した結果、できていると感じたことにどのようにアプローチしているか



3. 発表

【指導者テーマ】

- ①リーグ戦において大切なこと
⇒継続して長いスパンが確保できるため、段階的な指導者可能である。
- ②質の高い試合とは
⇒攻守の攻防があり、拮抗した試合内容であるもの
- ③試合でどの様な部分を見て分析しているか
⇒トーナメント戦だと相手の分析も出てくるが、まずは自チームにフォーカスし、個に対して分析を行っている。技術、判断を分けて分析し、試合の局面ごとにおいて分析
- ④分析の結果を指導にどう反映しているか
⇒ミスの原因を分析し、技術・判断のどちらの部分かを明確にし、練習に反映している。

【保護者テーマ】

- ①所属チームでどの様な指導を受けているか
⇒選手個々を見てくれ、選手ごとのストロングを見てくれている。選手に対して一生懸命に指導をしてくれている。技術の部分についても丁寧に指導してくれている。
- ②選手がサッカーを楽しんでいると感じるときはいつか
⇒笑顔でプレーしているとき。声が出ているとき。
- ③選手を分析した結果、できていると感じたことにどのようにアプローチしているか

⇒褒めるようにしている。さらにできていることが増えるように励ます。

4. まとめ

指導者も保護者も「選手の個々」にフォーカス

ミスにも局面があるため、どの部分のミスなのか分析を

選手が楽しんでサッカーをしていることが、保護者・指導者も楽しいとなる。そして選手が自立してサッカーをすることが重要

指導は指導者に任せ、保護者は選手の相談相手になり、たくさん褒めてあげてほしい

選手も自ら分析をできるようになることが重要

指導者も保護者も選手が失敗する前に予防せず、チャレンジして失敗から学び成長するようにしてもらいたい。



※山梨県出身者が A 代表に選出され、今後も『世界で活躍する選手』を輩出するために保護者・指導者一丸となって選手の育成に向けてがんばりましょう